

幕末日露交流の軌跡

洋式帆船建造地跡

戸田造船郷土資料博物館

☎0558-9412384

戸田湾の南奥、県道沿いに高さ3メートルほどの石碑があります。この碑は、幕末を迎える安政の時代、嵐によって駿河湾に沈んだロシア軍艦「ディアナ号」の代替船を建造した場所を示しており、この場所は県の指定史跡となっています。

ディアナ号に乗船していたプチャーチン提督は、軍艦を失ったあと、帰国のための船の建造を幕府に申請します。すると、内湾が砂浜で良湾であることや、山に囲まれ外からの目に触れにくいことなどから、戸田が代替船の建造地とされました。

ロシアの技術将校の指導のもと、日本側からは戸田の船大工など約200人ほどが集められ、およそ100日で2本マストの帆船「ヘダ号」が完成します。幕府は戸田で建造されたこの船が優れていたことから、同型の船10隻の建造を命じ、そのうちの6隻は戸田で建造されました。また、ここで造船に携わった船大工がその後、長崎の海軍養成機関に派遣されるなど、日本における洋式帆船建造技術の礎となりました。

このような歴史的価値を持つことから、ヘダ号は本年7月、公益社団法人日本船

舶海洋工学会認定の「ふね遺産」として登録されました。

ディアナ号に乗船していたマホフ神父は、窮地を救った日本人たちのことを「かれらは客好きで善良。オランダ以外の外国人を入国させないという掟に反しても、私たちを愛想よく迎えてくれた。情に厚く、同情心に富み、私たちは滞在中、誰一人として侮辱を受けたものはいない。常に好意と尊敬を示し、日本を去る時にも友情を示し、別れを惜しんでくれた」と記した資料を残しています。

プチャーチン提督は日露和親条約を締結したことで知られていますが、政治的な外交だけでなく、戸田の人たちをはじめとする日本との友好関係も築いていました。造船に限らない、日露交流の軌跡を讀める石碑は、今も昔も変わらない戸田の海を見守っています。



令和2年1月31日(金)まで、戸田造船郷土資料博物館で開館50周年企画展「プチャーチンが結んだ絆 ～日露友好の165年～」を開催しています。



写真は合成です。



©NUMAZU City Office

広報めづる 2019年11月1日号 No.1609

<https://www.city.numazu.shizuoka.jp/>

広報紙に関するお問い合わせ、ご意見・ご感想は
〒410-8601 沼津市役所 広報課までどうぞ。

■TEL 055-934-4703

■FAX 055-935-1560

■メール kouhou@city.numazu.lg.jp

この広報紙は、再生紙を使用しています。



日常の中に安らぎを

蛇松緑道

白銀町から狩野川河口の蛇松町まで続く遊歩道、蛇松緑道。全長約1.8km続くこの緑道は、かつては沼津駅と沼津港を結ぶ国鉄沼津港線が敷かれていましたが、昭和49年に廃線となり、跡地には市民の憩いの場として緑道が整備されています。

緑道には植栽がなされ、春には桜、夏には百日紅、秋には金木犀、冬には山茶花など約120種、1万4千本の草花が辺りを彩り、四季で違った姿を楽しむことができます。

小春日和の中訪れてみると、緑道内に所々設置してあるベンチに腰掛けながらシャボン玉を飛ばし遊んでいる親子、ウォーキングをする若者、友人と話しながらゆったり散歩をしているお年寄りなど、幅広い年代の人々が思い思いの時間を過ごしています。緑道の周辺は由緒あるお寺が立ち並ぶ閑静な住宅街となっていて、街中の喧騒を離れてゆったりとした時間を過ごすことができます。

一年間のうち300日以上、緑道の掃除をしている蛇松緑道白銀町愛護会の増山さんは「私が小さい頃蒸気機関車が走っていたこの場所が、廃線となった今では小学生たちの通学路となっているのが嬉しいです。子どもたちが季節の花で彩られたこの緑道を通して、心豊かに育ってくれたらいいですね」と話してくれました。

役割を変えた今でも人々の日常の中にある蛇松緑道は、これからもきっと、私たちに憩いと安らぎを与え続けてくれることでしょう。

◎緑地公園課 ☎055・934・4795



ぬまづの宝
めぐり
百選
第83回

地域の誇り

西浦みかん

冷風貯蔵庫内で行われる
熟成度合いの確認作業
撮影協力：真野高志さん(西浦江梨)

奥駿河湾に位置する西浦、内浦、静浦地区では温暖な気候や日当たりの良い山の斜面を利用し、古くからみかんの栽培が行われています。この地域のみかんは「西浦みかん」と呼ばれ、なかでも糖度が高く濃厚な味わいが特徴の「寿太郎温州」は、本市のふるさと納税でも人気の返礼品です。

西浦みかんが全国に知られるようになった原動力は、代々の生産者によるたゆまぬ努力に他なりません。より熟成させて、風味豊かな味わいにするため冷風貯蔵技術を導入したり、糖度を一定に保つため光センサー式選果機を導入したりするなど、品質の向上に努めてきました。また、切れ目なく消費者に西浦みかんをお届けするため、出荷時期の異なる新たな品種の栽培にも取り組んでいます。平成24年には、西浦みかんを核とした地域の取り組みが農林水産大臣賞を受賞するなど、全国でも高い評価を得ています。

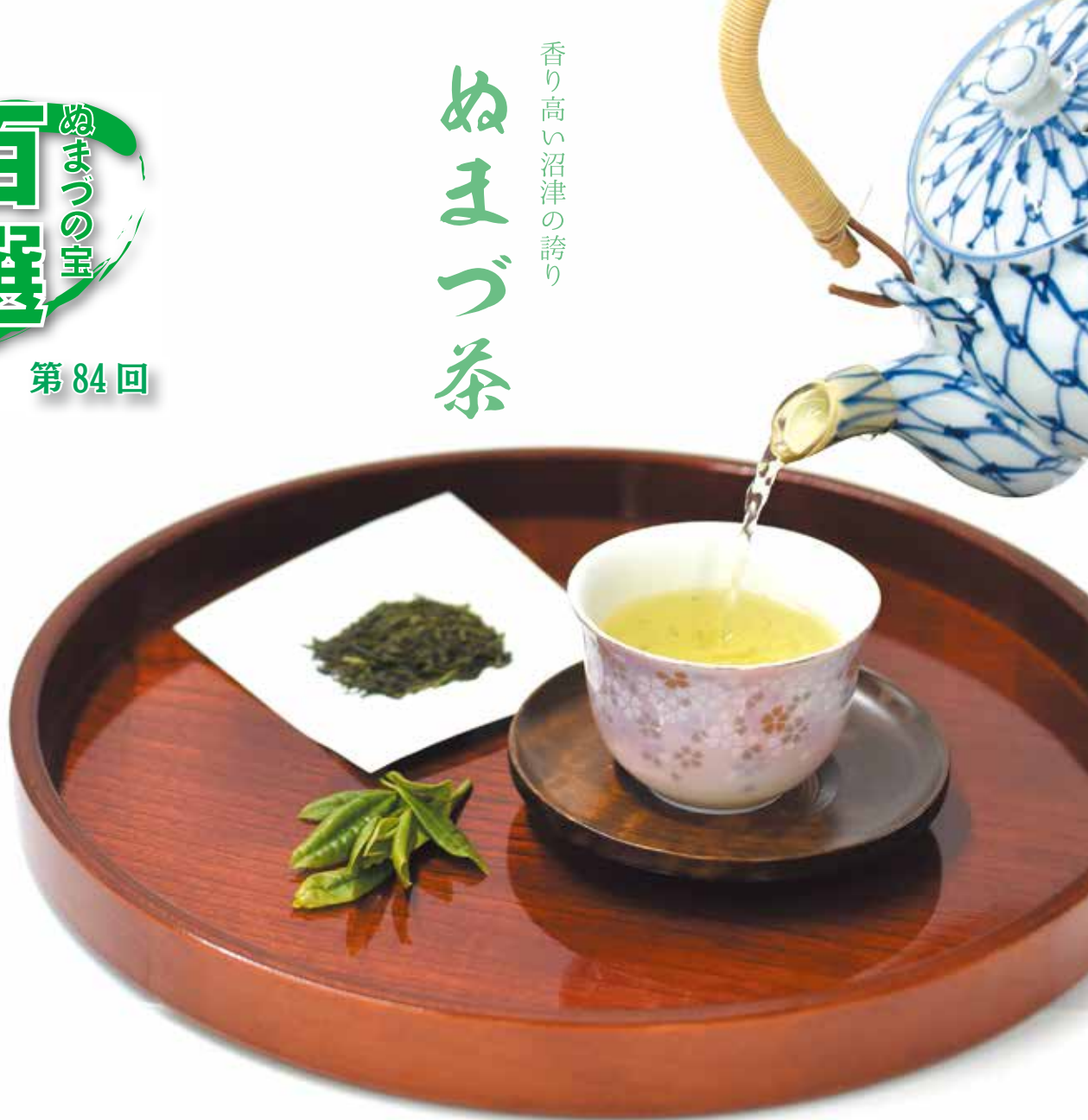
JAなんすん西浦柑橘出荷部会会長を務める矢岸さんは「地域の催しを農作業を中心に決めるほどみかんが根付いています。日本一の高品質みかんの産地を目指し、後世に繋げていきたいです」と展望を語ります。

西浦みかんの美味しさはもちろん、その味を守る地域の皆さんも、本市が誇る「ぬまづの宝」です。2月は寿太郎みかんの出荷最盛期です。地元の人たちの想いがたつぷりつまっているあま〜い沼津の宝、ぜひ味わってみませんか。

◎農林農地課 TEL 055・934・4751

ぬまづ茶

香り高い沼津の誇り



市内では、金岡、愛鷹、浮島地区などの丘陵地帯でお茶の栽培が盛んに行われており、立春から八十八夜を数えるこの時期は、愛鷹山麓が鮮やかな若葉色に染まり、茶摘みが盛んに行われます。また、根方街道沿いに多く見られる茶工場の軒先には、一番茶開始とともに新茶ののぼり旗が一斉に立ち並びます。

お茶の栽培には、茶農家の皆さんのためまぬ努力が欠かせません。気温の変化や霜害、虫害などに注意し、やっとの想いで新茶の時期を迎えます。

この季節は茶農家の皆さんはもちろん、私たち市民にとっても待ち望んだ季節といえるでしょう。

沼津産のお茶は三度にわたり皇室献上茶の栄誉を賜り、各品評会においても好成績を収めるなど「ぬまづ茶」としてブランド評価を高めています。

茶葉から淹れるお茶だけでなく、一番茶をパウダー状にした粉末茶などにも加工されており、料理やお菓子、焼酎割り等に広く利用され、いろいろな味わい方で楽しまれています。

私たちにとって親しみ深いぬまづ茶は「飲む」だけにとどまらず、様々な魅力をもっています。この機会に沼津が誇る特産品のぬまづ茶を楽しんでみませんか。

◎農林農地課

☎ 055・934・4751

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、掲載内容が変更となる場合があります。行事等の開催の有無については、主催者にお問い合わせ頂くか、市ホームページのイベント中止・延期情報をご確認下さい。



イベント中止・
延期情報

安全安心ぬまづの水

泉水源地



沼津市における水道の歴史は比較的浅く、市営水道として発足したのは戦後です。それ以前は、市内全域の豊富な地下水を飲料水として利用できる自然環境にあったため、各地域で小規模な水道組合が運営されていました。しかし、昭和20年の戦災により、ほとんどの施設が損壊したため、市が施設整備を進め、昭和25年に泉水源地からの給水が開始されました。これが現在の沼津市上水道の出発点です。

その拠点施設である泉水源地は、東洋一の湧水量を誇る、柿田川のすぐ隣に位置しています。敷地内には湧水池及び7本の深井戸があり、総湧水量は1日13万トンに及びます。市内の給水区域は、北は金岡から南は三津付近までと広範囲にわたり、市全体の給水量の60%、概ね15万人に給水しています。

また、柿田川は、全長約1.2kmと日本で最も短い一級河川で、川の中に湧き出る湧水群を水源にしています。その湧水群の源は、富士山に降った雨や雪解け水といわれています。水温は1年を通して15度前後で安定しているため、多くの魚や水生生物をはじめ、周辺の森には種々の鳥類が生息し、中でもカワセミや清流で日当たりのよいところにしか育たない水草のミシマバイカモが有名です。このように、たいへん美しい川であるため、昭和60年には柿田川湧水群として名水百選に選定されています。

ぬまづの水は、世界遺産富士山の恵みである豊富な地下水を、自然水に近い状態で市民のみなさんにお届けできることから、美味しいということに加え、全国トップクラスの安さとなっています。これからも、このぬまづの宝を大切に次世代に引き継いでいきます。

（沼）水道総務課

☎ 055・934・4862

◆新型コロナウイルス感染症について、相談・受診の目安が改訂されましたので、最新情報をお知らせします

- ①息苦しさ、強いだるさ、高熱などの強い症状のいずれかがある場合
 - ②発熱や咳などの比較的軽い風邪のような症状がある場合（高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患等の基礎疾患がある等重症化しやすい人や妊婦）
 - ③上記以外の人で、比較的軽い風邪の症状が続く場合
- ①～③に該当する人は、静岡県帰国者・接触者相談センターへ
 ☎050-5371-0561、050-5371-0562（平日8時30分から17時15分）
 ☎050-5371-0561（上記以外の時間、土・日曜日、祝・休日を含む）

時代を繋いでそこに

御成橋

市内には、狩野川に架かる橋が8本あります。その中で最も古いのが下流側から数えて3番目の御成橋で、その歴史の始まりは144年前まで遡ります。

明治9年、御成橋の前身となる木製の港橋（湊橋）は市内で初めて狩野川に架かる橋として開通し、それまで舟で対岸へと渡っていた人々の暮らしを便利にしました。しかし、洪水による破損や流失を繰り返したため、明治45年に県東部初の鉄橋として改築され、大正元年に名を「御成橋」と改めました。その後、交通量の増加などの理由から、昭和12年に新たな鉄橋に架け替えられ、現在のアーチ型の橋となりました。沼津大空襲を経験した橋には、今でも爆撃によりできたくぼみが確認でき、その傷跡は私たちに戦争の惨禍と平和の尊さを伝えています。

昭和初期に伊豆へと向かう観光道路の象徴的地点として再建されたことから、歴史的建造物の保存を目的とした、土木学会の選奨土木遺産に認定されており、市内外ともに認める沼津市のシンボルとなっています。夏の花火大会では橋の両側に花火が上がり、冬の出初式では、消防車による一斉放水のアーチが橋に重なります。夜は一年を通してライトアップされ、市街地の明かりとともに美しい夜景を演出し、沼津を代表する景色として街に溶け込んでいます。

御成橋は井上靖の自伝的小説「夏草冬濤」にも登場するほど、昔から人々に親しまれる存在でした。橋上で立ち止まり、昔の人も見ていたであろう沼津の街並みや狩野川の雄大な流れを眺めていると、変わりゆく時代の中でも、同じ場所から同じ景色を見られることにノスタルジーを感じられることでしょう。

明治初期に開通してから今日まで、私たちの生活を支えてくれている御成橋。人や物の往来により街を繋いでくれるだけでなく、過去と現在を繋ぎ、未来へと続く時代の架け橋でもあります。

日常的な活動が段階的に戻る中で、今後は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の第2波・第3波を防ぐことが重要となります。感染の拡大防止と日常的な活動の両立を図っていくためにも「新しい生活様式」を意識した生活を心がけましょう。



めぐり
第87回
ぬまづの宝
百選

沼津垣

風情を編み込んだパーテーション

駿河湾に面した沼津では、名産である干物の天日干しに最適な南西の強い風が吹きつけます。この風や、風が運ぶ砂や塩害を和らげるために、沼津垣と呼ばれる竹垣が利用されてきました。丸く細い箱根竹を十数本ずつ束ね、網代模様に丁寧に編んでいくことで風防・砂防の機能を発揮し、職人技が織りなす美しい幾何学模様は優れた景観性も兼ね備えています。

沼津垣は江戸時代前期には作られていたといわれ、歌川広重の浮世絵にも描かれており、古くから地域で広く利用されてきたことが伺えます。

現在では、沼津御用邸記念公園、若山牧水記念館、沼津港と千本浜公園をつなぐ「文学のみち」沿いの風情あるまちなみでもその姿を目にすることができます。

沼津垣の美しい佇まいは、趣ある景観を演出する住宅のエクステリアとして、今日でも利用されています。

意外なところでは、沼津駅北口駅前広場の歩道や永代橋の欄干は沼津垣をモチーフにデザインされており、スターバックスコーヒ―沼津花園店の店内には沼津市シルバー人材センターで制作された沼津垣にアートの要素をプラスしたオブジェが飾られています。

400年近く続く伝統技法の枠を超え、私たちの暮らしにも編み込まれた沼津垣。時を超えて誇ることのできる地域資源といえるでしょう。

登る人の数だけ 楽しみ方がある 香貫山

沼津駅から南東におよそ1km、沼津アルプスの最北端に位置する標高193mの香貫山。山頂付近にある展望台からは、中心市街地や駿河湾、そして愛鷹山越しの富士山までもが一望できる、360度のパノラマが広がります。

市街地から近いだけでなく、初心者から上級者まで多くの人を惹きつける多様なハイキングルートがあり、市内外からたくさんハイカーを集めています。

頂上に向かう道中には、サンショウ、クリ、アケビなど様々な植物が自生している姿をみつけることができます。樹名板が立てられており、ハイキングを楽しみながら植物について学習することもできます。さらに、トビやウグイス、キジなどの野鳥も数多く観察することができ、バードウォッチングにも最適です。

八重口からのルートで出会ったご夫婦は、香貫山でのハイキングを日課にしているとのこと。毎日展望台まで登っているそうで「ハイキングを始めてから体力がついて、笑顔でいることが増えました。二人で共通の趣味を持っていると会話も弾みます。健康と夫婦円満の秘訣は香貫山かもしれません」と教えてくれました。

香貫山に登って自分の住むまちの自然を感じることは、体力の向上だけでなく、心のリフレッシュにもつながり、健康管理に役立ちます。

いつまでも自分らしく、いきいきと暮らしていくために、この秋から香貫山でハイキングを始めてみてはいかがでしょうか。

◎観光戦略課

☎055・934・4746

芹沢光治良は、明治29年に我入道に生まれ、県立沼津中学校を卒業しました。その後、「ブルジョア」でデビューし作家の道を歩みます。国内外で高い評価を受け、平成5年に96歳で亡くなるまで精力的に執筆活動が続けました。偉大な作家でありながら、出版社が誤ってルビを振ったことをきっかけに、自身も「こうじろう」を名乗ったことや、生まれ年について、明治29年と30年どちらが正しいか聞かれ、どちらでもいいと答えたエピソード等から、物事にこだわらない人間味のある人柄であったことがうかがえます。また、沼津への強い想いがあり、故郷の豊かな自然や美しい風物が自分の性格や文学の基本であること、また、結核療養のためにスイスに滞在した際も故郷の風景を眼（まなこ）に浮かべ生きて還ると自分を励ましたと記しています。

このように、生涯沼津との繋がりを大切にした光治良ですが、本年は光治良が作家になって90年目、令和3年は母校県立沼津中学校（現・沼津東高等学校）の創立120周年にあたります。この節目に芹沢光治良記念館では、光治良の人格形成に大きな影響を与えた沼津中学校との関係に焦点を当てた企画展を開催しています。展示品の沼津中学校の回覧誌には、光治良が寄稿した文章が多数掲載されており、既にその才能を感じさせます。また、当時の光治良は、苦学生ながら文芸部委員として活躍し、中学時代を謳歌した様子が見て取れます。その他、恩師・前田千寸（ちきん）との交流が分かる手紙等も間近に見学できます。企画展担当者は、「展示をきっかけに、青春時代の等身大の光治良の姿や、沼津での経験が作家光治良の原点となったことを知っていただき、実際に作品を読んでもらえれば幸いです」と話します。この機会に、沼津を愛した文人の足跡を偲んでみませんか。

故郷沼津

芹沢 光治良



沼津東高等学校
旧校舍正門にて（御幸町）

めぐり
百選

ぬまづの宝

第89回

◎芹沢光治良記念館 TEL 055・932・0255
※企画展「光治良と沼中・東高」は12月6日（日）まで開催中です。



©NUMAZU City Office

広報ぬまづ 2020年11月1日号 No.1632
<https://www.city.numazu.shizuoka.jp/>

広報紙に関するお問い合わせ、ご意見・ご感想は
〒410-8601 沼津市役所 広報課までどうぞ。

■TEL 055-934-4703

■FAX 055-935-1560

■メール kouhou@city.numazu.lg.jp

この広報紙は、再生紙を使用しています。



美しい自然が広がり、
素晴らしい環境が保たれる

牛臥山公園

第90回



遙か昔、本州から離れた南の海に海底火山が存在し、プレートの上と共に移動を繰り返して、本州と衝突したことで伊豆半島が生まれました。その時の衝突に伴い、海底から姿を現した山々の一つに牛臥山があります。

牛臥山は、我入道から沼津御用邸記念公園へと続く美しい海岸線沿いに位置し、牛が伏せているかのように見えるその姿は、長年の侵食により形作られました。

山の南側には、風光明媚な景色が広がる立地を活かし、牛臥山公園が整備されています。天気の良い日には、南は島郷から内浦湾、駿河湾を挟み大瀬崎、そして伊豆の山々まで、西は日本平、南アルプスの山々まで一望することが出来ます。

小春日和のなか公園を訪れてみると、広場の芝生はきれいに刈り揃えられ、ベンチやあずまや周辺、お手洗いまできれいに保たれており、園内にはごみ一つ落ちていないことに驚きます。

いつもきれいに整備されている公園は、毎日ボランティアの手によって管理されており、開園してから11年間、管理・清掃をしているという山田さんは「自然を一身に感じられるこの場所は、地元に住む私たちの誇りです。きれいに保つことで、自分も気持ちいいしみんなのためにもなる。嬉しいことですよ」と話してくれました。

皆さんの力によって素晴らしい環境が維持され、美しい自然を大いに感じられる牛臥山公園。すべてが誇りといえるその場所に、ぜひ足を運んでみて下さい。

◎緑地公園課

☎ 055・934・4795



広報ぬまづ 2020年12月1日号 No.1634 <https://www.city.numazu.shizuoka.jp/>

広報紙に関するお問い合わせ、ご意見・ご感想は〒410-8601 沼津市役所 広報課までどうぞ。
■TEL 055-934-4703 ■FAX 055-935-1560 ■メール kouhou@city.numazu.lg.jp
この広報紙は、再生紙を使用しています。

沼津市の
統計
(11月1日現在)

人口	19万3,526人
男性	9万5,619人
女性	9万7,907人
世帯数	9万2,749世帯

変わらぬ名曲たち

沼津の歌



皆さんが沼津の歌と聞いて一番に思い浮かぶ歌は何ですか。

「ようこそ ようこそ 海の人」の歌詞で馴染み深く、地域のお祭りなど沼津の盆踊りに欠かせない『沼津・ふるさとの街』。狩野川花火大会のフィナーレ、ナイアガラ大瀑布のバックミュージックである『沼津夜曲』。「沼津音頭で 沼津音頭で シヤシヤリコシヤンシャン♪」と思わず体が動き出す『沼津音頭』。私たちに正午を知らせるチャイムとして利用されている『沼津市歌』。「沼津音頭」と『沼津市歌』は昭和30年に本市と周辺4村との合併を記念して作られた曲です。

さらに「坊やはよい子だ ねんねしな この子のかわいさ 限りなさ」で始まる子守唄「この子のかわいさ」は、全国各地のその土地ならではの歌詞で、江戸時代より歌い継がれてきており、その中でも沼津地方の歌は特に優れていると評されています。現在は夏休みと冬休みに子供たちに帰宅を促すメロディーとして同報無線から流されているほか、千本浜公園には沼津ロータリークラブ創立50周年を記念して建立された子守唄の石碑があります。クラブ会長の野際宏行さんは「沼津の誇りである子守唄をもっと皆さんに親しんでもらい、末長く地元に根付いてもらいたい」と石碑に込めた思いを語ってくれました。

本市の定番曲とも言えるこれらの歌は、沼津の歌としてぬまづの宝100選に選出され、多くの場面で私たちの生活と関わりを持っています。イベント期間中だけでなく、普段何気なく耳にしているメロディーや歌詞には、沼津の魅力や作詞・作曲者の想いが詰まっています。形は違えど、今も昔も変わらず私たちのそばにあり続ける名曲たちに、想いを馳せてみませんか。

文化振興課 ☎055-934-4812

新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

◆市相談受付窓口

危機管理課 ☎055-934-4803 ☎055-934-4758
受付時間 平日、8時30分～17時15分

◆県発熱等受診相談センター(かかりつけ医がない人で発熱や倦怠感等がある場合)

☎050-5371-0561(24時間)
☎050-5371-0562(平日、8時30分～17時15分)

愛鷹広域公園の西側道路の両側に植えられている約300本の桜の木。例年3月下旬から色づきはじめ、満開の時期を迎えると約1キロの道がまさに桜色に染まります。

市内屈指の美しさを誇るこの桜並木は、たくさんの人が足を運ぶのももちろん、映画のロケ地となったり多くの写真愛好家が集う場所となっています。

この桜並木の見事な風景を写真におさめた、高村昌貢さんの「桜に包まれて」という作品は、令和2年度版沼津市市民カレンダーの表紙を飾りました。

市内の写真愛好家が集う千本フォトクラブに所属している高村さんは「花びらの絨毯が一面に広がるタイミングを狙って撮影にきました。10年以上写真に興味にしていますが、この場所は沼津のなかでも絶好の桜撮影スポットだと思いますよ」と教えてくれました。

自然に恵まれた緑あふれる公園に春が訪れるまであとひと月ほど。愛鷹広域公園のほかにも、沼川沿いの桜と門池公園の桜もぬまづの宝100選に選ばれています。また、学校や公園、お寺や神社など、普段の暮らしのなかでも春が近づくと美しい桜を見かける機会が多くなります。

桜が咲く頃には市内の様々な場所で、散策や写真撮影などを楽しむことができます。感染症対策をしつつ、春の訪れを感じてみませんか。



ぬまづの宝
めぐり
百選
第92回

愛鷹広域公園の桜

令和2年度版沼津市市民カレンダーの表紙に採用された、高村昌貢さん(松下定町)の作品

新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

◇市相談受付窓口

危機管理課 ☎055-934-4803 ☎055-934-4758(平日、8時30分～17時15分)

◇県発熱等受診相談センター(かかりつけ医がない人で発熱や倦怠感等がある場合)

☎050-5371-0561(24時間) ☎050-5371-0562(平日、8時30分～17時15分)

◇新型コロナウイルスワクチン接種室(保健センター内)

☎055-951-3588(平日、8時30分～17時15分)



令和3年度 施政方針を発表しました

見慣れたまちなみを見渡すと、私たちの暮らしの中
に多くの宝が溶け込んでいることに気が付きます。

海岸線に沿って連なり、防風や防潮の役割を果た
す「千本松原」は、まちを守りながら東海道有数の景
勝地として美しい姿を魅せています。

市街地を悠々と流れ駿河湾へと注がれる「狩野川」
は、本州太平洋側で唯一北上する一級河川です。整
備された階段堤は、かのがわ風のテラスとして市民
の憩いの場となっています。

また、明治時代からまちを見守り人々に親しまれ
ている「御成橋」や、まち全体が熱気に包まれる「沼
津夏まつり・狩野川花火大会」など、市内には自然
だけに限らず、歴史や文化、さらには山海の恵みな
ど、まだまだ多くの宝が溢れています。

本市では、こうした宝をとりまとめ「ぬまづの宝
100選」としてPRしています。これをきっかけにま
ちを知り、郷土に愛着を持つて頂くことで、沼津が
誇りに満ち溢れたまちになることでしょう。我がま
ち沼津をもっと好きになって頂けるよう、これから
も「ぬまづの宝100選」の魅力をお伝えしていきます。

☎ 055・934・4839
① 広報課

新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

◆市相談受付窓口 危機管理課 ☎055-934-4803 ☎055-934-4758 (平日、8時30分～17時15分)	◆県発熱等受診相談センター ※かかりつけ医がない人で発熱や倦怠感等がある場合 ☎050-5371-0561(24時間) ☎050-5371-0562(平日、8時30分～17時15分)	◆市新型コロナワクチン予約・相談センター ☎0570-07-5675 (平日、8時30分～18時) (土曜、8時30分～17時)
---	--	---



広報ぬまづ 2021年4月1日号 No.1641 <https://www.city.numazu.shizuoka.jp/>

広報紙に関するお問い合わせ、ご意見・ご感想は ☎410-8601 沼津市役所 広報課までどうぞ。
■TEL 055-934-4703 ■FAX 055-935-1560 ■メール kouhou@city.numazu.lg.jp
この広報紙は、再生紙を使用しています。

沼津市の統計(3月1日現在) 人口 19万3,085人 男性 9万5,357人 女性 9万7,728人 世帯数 9万2,736世帯

愛鷹山南麓、街なかの喧騒を離れた柳沢地区の高台にひっそりと佇む赤野観音堂。江戸時代の風情をまとった木造茅葺きの寄棟造で、市の有形文化財に指定されています。

このお堂は、日光東照宮の「眠り猫」を代表作とする彫刻職人の左甚五郎が、魂を吹き込んだ藁人形とともに一夜のうちに完成させたという伝説があります。また、「あけの」の地名は、観音堂が、夜が「明けぬ」うちに完成したことが由来であるという説もあります(※)。

茶畑に囲まれた観音堂周辺は、駿河湾の眺望が良いことや適度なアップダウンがあることから、主に健脚派のサイクリストに人気を博しています。地元のサイクリストチームの代表を務める高遠勝彦さんは「この辺りの景色は本当に爽快感があります。晴れた日には大瀬崎まで一望できるんですよ。夏が本番を迎える前、新緑の季節のサイクリングは特におすすめです」と教えてくれました。

厳かな雰囲気のあるこの文化財は、その立地とともに、地域の誇りとして広く親しまれています。

問文化財センター

055・935・5010

(※)由来には諸説あります。

赤野観音堂

AKENO
KWANNON DOH

新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

◆市相談受付窓口

危機管理課 ☎055-934-4803
☎055-934-4758
(平日、8時30分～17時15分)

◆県発熱等受診相談センター

※かかりつけ医がない人で発熱や倦怠感等がある場合
☎050-5371-0561(24時間)
☎050-5371-0562(平日、8時30分～17時15分)

◆市新型コロナワクチン予約・相談センター

☎0570-07-5675
(平日、8時30分～18時)
(土曜、8時30分～17時)



©NUMAZU City Office

広報めまづ 2021年5月1日号 No.1643 <https://www.city.numazu.shizuoka.jp/>

広報紙に関するお問い合わせ、ご意見・ご感想は☎410-8601 沼津市役所 広報課までどうぞ。

■TEL 055-934-4703 ■FAX 055-935-1560 ■メール kouhou@city.numazu.lg.jp

この広報紙は、再生紙を使用しています。

めまづの宝
百選
めぐり 第94回
沼津ホタル
まつり

愛鷹広域公園内、IN THE PARKの南側に葛原沢川という小さな清流があります。そこに沿って伸びる、せせらぎの径と呼ばれる1kmにも満たない小道が「沼津ホタルまつり」の会場です。

例年6月中旬、一番の見頃を迎える時期に開催され、自然発生したゲンジボタルの飛び交う幻想的な風景を目の当たりにできます。このおまつりは、この地でホタルが飛ぶのを偶然見つけた、沼津ホタル保護研究会初代会長が、素晴らしい環境をホタルの里としていつまでも守りたいとの思いから始め、現在まで20年以上続いています。平成5年には全国ホタル研究会の大会開催地にも選ばれました。

事務局長の大竹さんは「ホタルはきれいな川にしか生息できません。環境保護の象徴であり、バロメータです。ホタルを守ることとは自然環境を守ることに繋がります。皆さんにも、このすばらしい景色を見て頂き、環境保護の大切さを感じてほしい」と話してくれました。

梅雨時期に少し足を伸ばせば、まちの喧騒から離れ、いつもと違う特別な時間を過ごせそうです。ただし、ここはホタルの里なので、驚かさないうようにそっとお邪魔させてもらいましょう。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今年度の「沼津ホタルまつり」は中止します。



令和3年度版沼津市市民カレンダーに採用された井出勲さん(中沢田)の作品

新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

◆市相談受付窓口

危機管理課 ☎055-934-4803
☎055-934-4758
(平日、8時30分～17時15分)

◆県発熱等受診相談センター

※かかりつけ医がない人で発熱や倦怠感等がある場合
☎050-5371-0561(24時間)
☎050-5371-0562(平日、8時30分～17時15分)

◆市新型コロナウイルスワクチン予約・相談センター

☎0570-07-5675
(平日、8時30分～18時)
(土曜、8時30分～17時)



©NUMAZU City Office

広報めまづ 2021年6月1日号 No.1645 <https://www.city.numazu.shizuoka.jp/>

広報紙に関するお問い合わせ、ご意見・ご感想は〒410-8601 沼津市役所 広報課までどうぞ。

■TEL 055-934-4703 ■FAX 055-935-1560 ■メール kouhou@city.numazu.lg.jp
この広報紙は、再生紙を使用しています。

沼津市の統計(5月1日現在) 人口 19万2,519人 男性 9万5,106人 女性 9万7,413人 世帯数 9万2,959世帯



(写真左上から)城岡神社境内にある沼津兵学校址碑(左)と沼津兵学校記念碑(右)、兵学校設立のために尽力した江原素六、明治史料館にある当時の兵学校の校門として使用されていたと伝えられている門柱、文部省の学校体育における指導書となった『体操書』と翻訳を手掛けた石橋好一(元沼津兵学校教授)

江戸幕府が約260年の歴史に幕を閉じ、徳川家の駿河移封をきっかけとして、明治元年、旧幕臣の江原素六や阿部潜らが沼津に開設したのが「沼津兵学校」です。沼津藩の居城であった旧沼津城(沼津駅南側市街地一帯)を校地とし、教授には旧幕府において西洋の知識や技術を学んだ人材が選ばれました。新時代の教育機関として、当時の最先端の学問を生徒たちに施したことで評判は広まり、最高水準の学問を求めた多くの人々が、諸藩から沼津へと留学にやってきました。

明治政府に移管され、約3年半で廃校とはなりましたが、先進的な学校制度と優れた教育内容を合わせ持った沼津兵学校から輩出された多くの人材が、日本の近代化にどれほど寄与したか測り知れません。

また、あまり知られてはいませんが、日本で初めて授業として「体操」を取り入れたことから、沼津は日本の体育の先駆けといわれました。さらに、教授だった石橋好一がフランス語から翻訳、文部省が出版した『体操書』は、学校体育の指導書として広く活用されました。皆さんがスポーツに親しむ際はぜひ、沼津が体育発祥の地であることを思い出して下さい。そして、全国で最高レベルの学問の地であったという誇りを、私たちの心につまでも忘れず刻んでおきたいものです。

明治史料館

055・923・3335

新型コロナウイルスワクチンに関するお知らせ

●ワクチン接種会場時間のご案内

「密」状態を避けるため、接種当日は予約時間のとおりに会場へお越し下さい。遅れる場合でも、予約した日であればワクチン接種はできるので、安心してお越し下さい。

◆市新型コロナワクチン予約・相談センター ◆新型コロナウィルスワクチン接種室

☎0570-07-5675

(平日、8時30分～18時)

(土曜、8時30分～17時)

☎055-951-3588

(平日、8時30分

～17時)



詳細はこちら



新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

◆市相談受付窓口

危機管理課 ☎055-934-4803

☎055-934-4758

(平日、8時30分～17時15分)

◆県発熱等受診相談センター

※かかりつけ医がない人で発熱や倦怠感等がある場合

☎050-5371-0561(24時間)

☎050-5371-0562(平日、8時30分～17時15分)



NUMAZU City Office

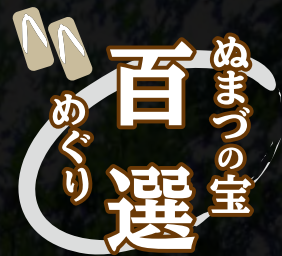
広報ぬまづ 2021年7月1日号 No.1647 <https://www.city.numazu.shizuoka.jp/>

広報紙に関するお問い合わせ、ご意見・ご感想は〒410-8601 沼津市役所 広報課までどうぞ。

■TEL 055-934-4703 ■FAX 055-935-1560 ■メール kouhou@city.numazu.lg.jp

この広報紙は、再生紙を使用しています。

沼津市の統計(6月1日現在) 人口 19万2,338人 男性 9万5,022人 女性 9万7,316人 世帯数 9万2,933世帯



河内の大スギ

森にたずむ神秘の巨木

金冠山の北側斜面に位置する市民の森を起点に、展望台を抜け急斜面の林道を降りると、高さ43メートル、根廻り13メートルにもおよぶ「河内の大スギ」が静かな森の中で四方に向け大きな枝を広げています。

大スギの周りを囲むように厳かな空間が広がっており、まるでこの巨木のために舞台が用意されたかのようにも映ります。孤高にして荘厳なその姿は、最初に出会ったときに思わず息を呑むほどの存在感を放っていました。

静岡県の天然記念物に指定されているこの木は、推定樹齢約400年とされていますが、当地には「今から1200年前に弘法大師が菩薩像を安置した」との伝承が残されています。

古くから地元の人たちによって懸命に保護されており、戦前に付近一帯の森で間伐が行われた際にも伐採から逃れています。この時、森のなかでもこのスギだけが飛び抜けて大きく、神聖な佇まいに斧を入れるのをためらったという逸話もあります。

地上3.5メートルのところで7本に分岐し、樹勢よく伸びる姿からは、悠久の時間と河内の大スギを守り抜いてきた地元の人たちの想いを感じ取ることができるかもしれません。

足元に気をつけながら、大スギに会いにってみませんか。ぬまづの宝に直接対面することでその偉大な生命力を感じることができそうです。

各医療機関によるコロナワクチン接種のお知らせ

7月から、市内医療機関によるワクチン接種が始まりました。

協力医療機関や接種日程については、市ホームページまたはコールセンターでご確認下さい。



詳細はこちら

◆市新型コロナワクチン予約・相談センター

☎0570-07-5675

平日、8時30分～18時(土曜は17時まで)

◆新型コロナウイルスワクチン接種室

☎055-951-3588

平日、8時30分～17時

新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

◆市相談受付窓口

危機管理課 ☎055-934-4803 ☎055-934-4758

(平日、8時30分～17時15分)

◆県発熱等受診相談センター

※かかりつけ医がない人で発熱や倦怠感等がある場合

☎050-5371-0561(24時間)

☎050-5371-0562(平日、8時30分～17時15分)



©NUMAZU City Office

広報ぬまづ 2021年8月1日号 No.1649 <https://www.city.numazu.shizuoka.jp/>

広報紙に関するお問い合わせ、ご意見・ご感想は☎410-8601 沼津市役所 広報課までどうぞ。

■TEL 055-934-4703 ■FAX 055-935-1560 ■メール kouhou@city.numazu.lg.jp

この広報紙は、再生紙を使用しています。

沼津市の住民基本台帳人口(7月1日現在) 人口19万2,194人 男性9万4,945人 女性9万7,249人 世帯数9万2,934世帯

ぬまづの宝 100 選にアクセスしやすくなりました！



ぬまづの宝 100 選
バーコードマップ

自然や歴史・文化、味覚やにぎわいなど、本市の誇る地域資源の中から、特に個性と魅力に溢れる宝を集めた「ぬまづの宝 100 選」。

皆さんがよりアクセスしやすいよう、市ホームページに案内マップ機能を追加しましたので、代表的な機能を紹介します。これらを活用し、今まで気になっていた宝へ足を運んでみて下さい。



詳しくはこちら

1

見やすい！

市内全体を俯瞰して見ることができ、宝の位置を一目で把握することができます。効率良く宝を巡って「100 選マスター」を目指しましょう。

※100 選マスターの詳細は、市ホームページをご覧ください。

広報ぬまづ 検索

2

選びやすい！

分野（自然・風景、歴史、文化・伝統、味覚、にぎわい）ごとに絞った宝の配置を確認できます。



3

行きやすい！

市ホームページにあるリストのマーカーを選択すると、現在地から選択した宝への経路や所要時間が表示されます。

※利用の際は GPS 機能をオンにして下さい。
※パソコンから利用する場合は、現在地の入力が必要です。



新型コロナウイルスワクチン接種のお知らせ

段階的に予約を受け付けてきましたが、12 歳以上の全ての対象者が接種可能となりました。

接種会場や日程については、市ホームページまたは市新型コロナワクチン予約・相談センターでご確認下さい。

◆市新型コロナワクチン予約・相談センター

☎0570-07-5675

平日、8時30分～18時(土曜は17時まで)

◆新型コロナウイルスワクチン接種室

☎055-951-3588

平日、8時30分～17時



詳細はこちら

新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

◆市相談受付窓口

危機管理課 ☎055-934-4803 ☎055-934-4758
(平日、8時30分～17時15分)

◆県発熱等受診相談センター

※かかりつけ医がない人で発熱や倦怠感等がある場合

☎050-5371-0561 (24 時間)

☎050-5371-0562 (平日、8時30分～17時15分)



NUMAZU City Office

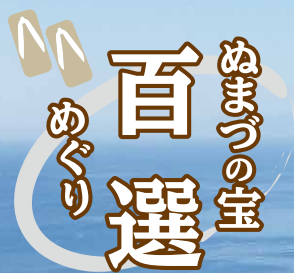
広報ぬまづ 2021年9月1日号 No.1651 <https://www.city.numazu.shizuoka.jp/>

広報紙に関するお問い合わせ、ご意見・ご感想は ☎410-8601 沼津市役所 広報課までどうぞ。

■TEL 055-934-4703 ■FAX 055-935-1560 ■メール kouhou@city.numazu.lg.jp

この広報紙は、再生紙を使用しています。

沼津市の住民基本台帳人口(8月1日現在) 人口 19万2,097人 男性 9万4,908人 女性 9万7,189人 世帯数 9万2,967世帯



潮騒と松籟の地

千本松原

狩野川の河口から海岸沿いに西へ約10キロメートルにわたり連なる千本松原は、松の常緑と白雪を頂いた富士山、そして駿河湾の彼方に沈む夕日といった美しい自然で知られ、東海道随一の景勝地のひとつです。松林の中の遊歩道では、犬の散歩をする人やウォーキングやジョギングなどを楽しむ人の姿が見られ人々の憩いの場所にもなっています。

今でも立派に防潮・防風林としての役割を果たしていますが、その始まりは戦国時代に遡ります。一説によると天文6年頃、後北条氏と今川氏・武田氏の激しい戦いの際、松原は無惨にも切り払われてしまいました。しかし、地元の人々が潮風の被害に苦しんでいる姿を見た名僧増善上人が5年の歳月をかけて植え直し、それが現在に至っていると伝えられています。

また、松原の一部は公園としても整備され、この地を愛した文人たちの記念碑を見ることができます。この碑の中に、千本松原の保護に尽力した歌人若山牧水の歌碑があります。牧水は、船で西伊豆の土肥温泉へ向かう途中で眺めた千本松原の偉大さに心惹かれ、大正9年に東京から家族でこの地に移りました。牧水もまた沼津に魅せられて移住したひとりでした。牧水が生涯愛し、歌に詠んだ100年前と変わらない千本松原の風情をぬまづの宝として、これからも大切に守っていききたいものです。

新型コロナワクチン接種に関するお問い合わせ

12歳以上の希望するすべての人の予約受付をしています。可能な限り10月中旬に2回接種が完了するよう予約をお願いします。会場はキラメッセぬまづのほか、市内の各医療機関でも接種を実施しています。



詳細はこちら

- ◆市新型コロナワクチン予約・相談センター ☎0570-07-5675 8時30分～18時(土曜は17時まで)
- ◆新型コロナウイルスワクチン接種室 ☎055-951-3588 平日、8時30分～17時

新型コロナウイルス感染症に関するお問い合わせ

- ◆市相談受付窓口
危機管理課 ☎055-934-4803 ☎055-934-4758 (平日、8時30分～17時15分)
- ◆県発熱等受診相談センター
※かかりつけ医がない人で発熱や倦怠感等がある場合
☎050-5371-0561(24時間)
☎050-5371-0562(平日、8時30分～17時15分)



広報ぬまづ 2021年10月1日号 No.1653 <https://www.city.numazu.shizuoka.jp/>

広報紙に関するお問い合わせ、ご意見・ご感想は〒410-8601 沼津市役所 広報課までどうぞ。
■TEL 055-934-4703 ■FAX 055-935-1560 ■メール kouhou@city.numazu.lg.jp
この広報紙は、再生紙を使用しています。

参議院静岡県選出

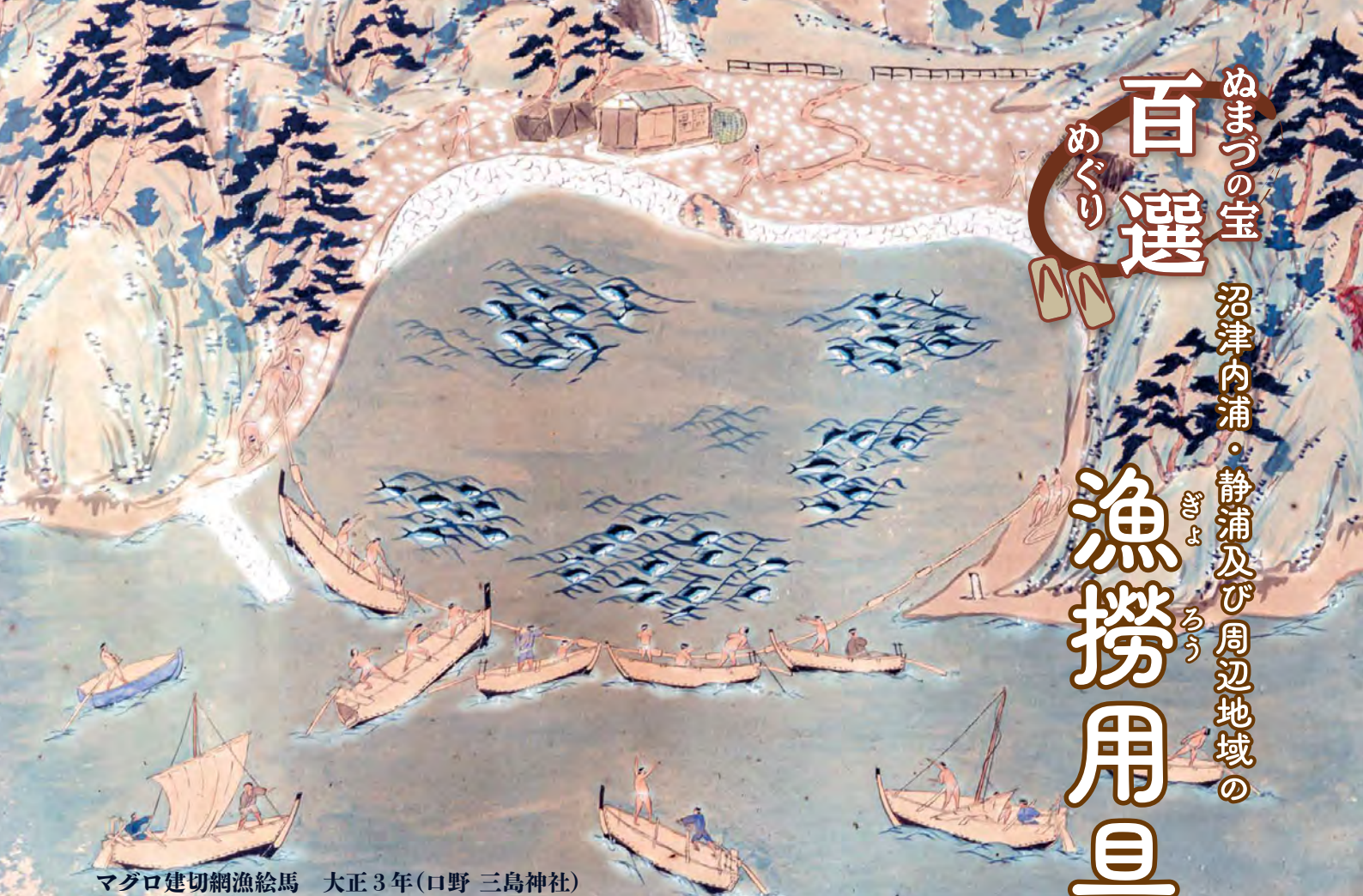
議員補欠選挙

投票日

10月24日(日)



沼津市の統計(9月1日現在) 人口19万1,934人 男性9万4,809人 女性9万7,125人 世帯数9万2,931世帯



ぬまづの宝 沼津内浦・静浦及び周辺地域の 厳選 めぐり ぎょ らう 漁撈用具

馬ぐろ建切網漁絵馬 大正3年(口野 三島神社)

漁業が盛んな沼津では、伊豆近海や駿河湾のサバやアジ、カツオ等が水揚げされます。巻き網漁や定置網漁、底引網漁、シラス網漁などの多様な漁法によって豊富な魚種や漁獲量を誇り、一年を通して新鮮な魚が水揚げされます。

沼津における漁業の歴史は古く、戦国時代から大正時代中頃にかけては、内浦湾沿岸に近づいてきたマグロやカツオ等の漁が盛んに行われていました。歴史民俗資料館には、地域の人たちが協力し入り組んだ海岸線を利用して魚の群れを次第に囲い込む「建切網漁」に使われた用具や、個人の漁で使用した漁具等の地域独特の資料が所蔵・展示されています。これらの漁撈用具のうち2539点が、「沼津内浦・静浦及び周辺地域の漁撈用具」として「重要有形民俗文化財」に指定されています。有形の文化財のうち、人々の暮らしの推移を理解するため、特に重要なものであるとされる国指定の「重要有形民俗文化財」は、現在全国で224件、県内ではわずか2件のみの貴重な文化財です。

歴史民俗資料館は、沼津御用邸記念公園内にあり、様々な文化財を所蔵・展示しています。私たちが暮らす沼津の、古くから受け継がれてきた魅力をさらに深く、もっと詳しく知るために、散歩を兼ねてお出かけしてみたいかがでしょうか。

問 歴史民俗資料館

☎055・932・6266



11月以降の新型コロナワクチン接種に関するお知らせ

11月以降は、市内の一部医療機関にて接種を実施します。接種を希望する人は早めの予約をお願いします。



- ◆市新型コロナワクチン予約・相談センター ☎0570-07-5675 平日、8時30分～18時(土曜は17時まで)
- ◆新型コロナウイルスワクチン接種室 ☎055-951-3588 平日、8時30分～17時

新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

- ◆市相談受付窓口
危機管理課 ☎055-934-4803 ☎055-934-4758 (平日、8時30分～17時15分)
- ◆県発熱等受診相談センター
※かかりつけ医がない人で発熱や倦怠感等がある場合
☎050-5371-0561(24時間)
☎050-5371-0562(平日、8時30分～17時15分)



広報ぬまづ 2021年11月1日号 No.1655 <https://www.city.numazu.shizuoka.jp/>
 広報紙に関するお問い合わせ、ご意見・ご感想は☎410-8601 沼津市役所 広報課までどうぞ。
 ■TEL 055-934-4703 ■FAX 055-935-1560 ■メール kouhou@city.numazu.lg.jp
 この広報紙は、再生紙を使用しています。

沼津市の住民基本台帳人口(10月1日現在) 人口19万1,810人 男性9万4,740人 女性9万7,070人 世帯数9万2,895世帯

へだトロはんぺん



ぬまづの宝
めぐり
百選

ぐるんとした目や発達したあご、ぬるりとした鱗など、スーパーでよく見かける魚とはひと味違い豊かな個性を持つ深海魚たち。日本一の深さを誇る駿河湾に面する戸田の近海で毎年9月中頃にトロール漁が解禁されると、新鮮で見応えあるタカアシガニやサザエと一緒に、美味しい深海魚料理が次々とお店や家庭の食卓にのぼり、テレビや新聞でも取り上げられる機会が増えています。

深海魚料理といえば刺身や唐揚げが有名ですが、メギスやトロボッチといった深海魚をすり身にして揚げた「へだトロはんぺん」をご存知でしょうか。

戸田の近海、深い深い海の底を網でさらっていくトロール漁で獲れた深海魚を使うのが名前の由来で、昔から漁師の家庭料理として親しまれてきました。タコやエビを練り込むなど家庭やお店によって材料は様々で、深海魚を主役に海鮮の旨味をぎゅっと詰め込んだ戸田ならではのグルメです。一口食べればその美味しさの虜になること間違いありません。

へだトロはんぺんは材料となる新鮮な深海魚が獲れた時のみ作られるため、今では戸田の一部の販売店や飲食店、イベントなどでしか味わうことのできない希少な深海魚料理です。

漁師の家庭料理として親しまれ、愛されてきた「へだトロはんぺん」。美味しさ満点で珍しい深海魚料理をぜひお試しください。

商工振興課 ☎055・934・4748

新型コロナワクチン接種に関するお知らせ

希望者で1・2回目の接種が済んでいない人は、早めの予約をお願いします。予約は2回分必要です。

3回目の接種については、決まり次第広報ぬまづでもお知らせします。



詳細はこちら

◆市新型コロナワクチン予約・相談センター

☎0570-07-5675

8時30分～18時(土曜は17時まで)

◆新型コロナウイルスワクチン接種室

☎055-951-3588

平日、8時30分～17時

新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

◆市相談受付窓口

危機管理課 ☎055-934-4803 ☎055-934-4758

(平日、8時30分～17時15分)

◆県発熱等受診相談センター

※かかりつけ医がない人で発熱や倦怠感等情况がある場合

☎050-5371-0561(24時間)

☎050-5371-0562(平日、8時30分～17時15分)



©NUMAZU City Office

広報ぬまづ 2021年12月1日号 No.1657 <https://www.city.numazu.shizuoka.jp/>

広報紙に関するお問い合わせ、ご意見・ご感想は〒410-8601 沼津市役所 広報課までどうぞ。

■TEL 055-934-4703 ■FAX 055-935-1560 ■メール kouhou@city.numazu.lg.jp

この広報紙は、再生紙を使用しています。

沼津市の住民基本台帳人口(11月1日現在) 人口19万1,677人 男性9万4,663人 女性9万7,014人 世帯数9万2,841世帯



だるま 夕日

海に沈む間際の夕日が蜃気楼のごとく揺らぎ、2つの円が重なるシルエットが、「だるま」のように見えることから名がついた「だるま夕日」。外国では、形がギリシャ文字のΩ（オメガ）に似ていることから、オメガサンとも呼ばれています。

よく晴れた日の、大気と海水の温度差が大きい日に、ほんの数秒から数分の間だけ姿を見ることが出来ますが、雲がかからない完璧な「だるま」の姿は、11月中旬から2月中旬のシーズン中でも、数えるほどしか見ることができないとても貴重な景色です。そのあまりの貴重さから、幸運の象徴とされている地域もあります。

なかなか出会うことができないことから写真家の間でも一度は写真に収めたい景色の一つとされています。市内の写真愛好家が集う、千本フォトクラブの主宰を務める小俣佳昭さんは「何度も撮影スポットに通って、やっとの思いで美しい形を撮影できた時の感動は言葉では言い表せません。沼津は駿河湾に面しているので、沼津港や沼津御用邸記念公園、静浦漁港周辺など、だるま夕日を見られる場所はたくさんあります。沼津に住んでいるなら一度は見てもいい景色です」と話してくれました。

日本に限らず世界中の人々を魅了するだるま夕日。皆さんもその幻想的な姿をカメラに捉え、たくさんの人たちとその感動を共有してみませんか。

新型コロナワクチン3回目接種についてのお知らせ

接種券は2回目の接種日に応じて順次発送しています。お手元に届きましたら、同封の案内を参考に予約をして下さい。ワクチンは、モデルナ社製(集団接種)とファイザー社製(個別接種)を使用します。



詳細はこちら

◆ワクチン接種の予約・相談受付
☎0120-236-258(フリーダイヤル)
8時30分～18時(土・日曜日、祝・休日も受付)

◆新型コロナウイルスワクチン接種室
☎055-951-3588
平日、8時30分～17時

新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

◆市相談受付窓口

危機管理課 ☎055-934-4803 ☎055-934-4758
(平日、8時30分～17時15分)

◆県発熱等受診相談センター

※かかりつけ医がない人で発熱や倦怠感等がある場合
☎050-5371-0561(24時間)
☎050-5371-0562(平日、8時30分～17時15分)



©NUMAZU City Office

広報めまづ 2022年2月1日号 No.1660

<https://www.city.numazu.shizuoka.jp/>

広報紙に関するお問い合わせ、ご意見・ご感想は〒410-8601 沼津市役所 広報課までどうぞ。

■TEL 055-934-4703 ■FAX 055-935-1560 ■メール kouhou@city.numazu.lg.jp

この広報紙は、再生紙を使用しています。

沼津市の住民基本台帳人口(1月1日現在) 人口 19万1,256人 男性 9万4,415人 女性 9万6,841人 世帯数 9万2,721世帯

門池公園の桜

市内には多くの桜の名所があり「ぬまづの宝100選」には、門池公園を含めて4カ所の桜の名所が選定されています。公園のシンボルでもある池は、約1.3kmの遊歩道で囲まれており、この時期多くの人々が桜をバックに写真を撮ったり、桜のトンネルをくぐったりしながら散策を楽しみます。また、所々に置かれたベンチに座りながら、うつすらと桜のピンクが映る水面を眺めたり富士山と桜のコラボレーションを楽しむこともできます。年に一度の桜色に包まれたのどかな雰囲気なか、ゆったりとした時間を満喫してみたいかですか。

④緑地公園課 TEL 055・934・4795

沼津の花ごよみ。





2022年(令和4年)
No.1664

4月1日号

令和4年度 施政方針を 発表しました

administrative policies



沼津市の地域資源である「ぬまづの宝 100 選」。平成 23 年 9 月の決定から 10 年以上が経過し、その間に新たな魅力も創出されています。
令和 5 年の市制 100 周年に向けて、「ぬまづの宝 100 選」の見直しを進めており、あわせて新たな候補の募集をしていますので、「ぬまづの宝 100 選」に相応しいと思うものをご応募下さい。詳細は、市ホームページをご覧ください。 [広報ぬまづ](#) [検索](#)



©NUMAZU City Office

広報ぬまづ 2022年4月1日号 No.1664 <https://www.city.numazu.shizuoka.jp/>

広報紙に関するお問い合わせ、ご意見・ご感想は〒410-8601 沼津市役所 広報課までどうぞ。
■TEL 055-934-4703 ■FAX 055-935-1560 ■メール kouhou@city.numazu.lg.jp
この広報紙は、再生紙を使用しています。

沼津市の住民基本台帳人口(3月1日現在) 人口 19 万 869 人 男性 9 万 4,181 人 女性 9 万 6,688 人 世帯数 9 万 2,634 世帯



御浜岬

伊豆の国 戸田の港ゆ
はしなく見たれ

船出すと
富士の高嶺を

牧水

そとうみ

うちうみ

湾曲した形で海を隔てるこの場所は、戸田にある「御浜岬」です。雨風や波で近隣の山々から削られた岩や土砂が、海流に乗ってこの場所に運ばれ、長年に渡り堆積したことでもできました。岬の一部は公園として整備され、色とりどりのアジサイや鮮やかなオレンジ色のスカシユリが咲き誇ります。また、林立する立派な松や遠くに臨む富士山などの景観は素晴らしく、全身で自然を感じることが出来ます。

内海は波がとても穏やかで、夏には海水浴場が開設され、ビーチは人々で賑わいます。さらさらとした気持ちのよい砂浜に山が広がるのどかな景色、太陽の光が透き通る美しい海は、夏の絶好の遊び場です。

岬の先端には諸口神社が鎮座し、漁業者や航海の守護神として厚く崇拝されており、最近ではパワースポットとしても有名です。海のしぶきを浴びながら朱色の鳥居がでんと構え、富士山と海との美しいコントラストや希少な景色に訪れた人は思わずカメラを構えたいくなることでしょう。境内に足を踏み入れると、神聖な雰囲気、駿河湾に接する外海は、内海とは一転して荒々しい海の様子が伺えます。遠くにそびえ立つ富士山を仰ぐ景色に、沼津の歌人・若山牧水は歌を詠み、歌碑も建っています。

戸田に住む高田さんは「ここは海に沈む夕日もきれいで、友達が沼津に来たら必ず案内しています。夜は波音を聴くだけでも癒やされるし、贅沢な時間を過ごすことができます」と地元の人ならではの楽しみ方を教えてくれました。

めまづの宝である「御浜岬」は、いろいろな表情をあわせ持ち、昔も今も多くの人の心を惹きつけてやみません。

◎観光戦略課

☎055・934・4747

新型コロナワクチン接種のお知らせ

市内医療機関にて、追加接種(12歳以上)及び小児接種(5歳～11歳)を引き続き実施しています。ワクチンの効果や副反応等について考慮頂き、接種を行うかを判断下さい。

◆市新型コロナワクチン予約・相談受付 ☎0120-236-258(フリーダイヤル)

8時30分～18時(土・日曜日、祝・休日も受け付け)

◆新型コロナウイルスワクチン接種室 ☎055-951-3588

平日、8時30分～17時



詳細はこちら

新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

◆市相談受付窓口

危機管理課 ☎055-934-4803 ☎055-934-4758
(平日、8時30分～17時15分)

◆県発熱等受診相談センター

※かかりつけ医がない人で発熱や倦怠感等がある場合

☎050-5371-0561(24時間)

☎050-5371-0562(平日、8時30分～17時15分)



©NUMAZU City Office

広報めまづ 2022年5月1日号 No.1666 <https://www.city.numazu.shizuoka.jp/>

広報紙に関するお問い合わせ、ご意見・ご感想は☎410-8601 沼津市役所 広報課までどうぞ。

■TEL 055-934-4703 ■FAX 055-935-1560 ■メール kouhou@city.numazu.lg.jp

この広報紙は、再生紙を使用しています。

沼津市の住民基本台帳人口(4月1日現在) 人口 19万417人 男性 9万3,949人 女性 9万6,468人 世帯数 9万2,851世帯